

新着資料展 一自然一

2021年6月19日(土)~7月18日(日) 1階 寄贈品コーナー

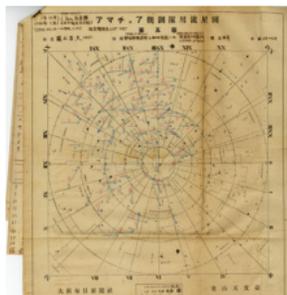
博物館には毎年のように新しい資料が収蔵されます。中には、市民の皆さんよりご寄贈いただいた資料も数多く含まれています。本展示では、2020年度に新しく博物館に加わった生物・地質・天文分野の資料を紹介します。

<展示予定資料(一部)>

生物：骨格標本(カワウ、コアジサシ、オオコノハズク)、中村静男氏虫こぶ標本記録、カドバリニッポンマイマイ殻

地質：道志村産水晶ほか鉱物標本、大磯町産凝灰岩・集塊岩・タマネギ石

天文：終戦直後の流星の観測記録、天体観察会会員撮影天体写真ほか



◀流星のプロット
観測記録
(赤坂 豊氏寄贈)



◀燐葉石
(八木下秀生氏寄贈)



◀カワウ
骨格標本

新着資料展【自然分野】 始まりました。

2021年6月20日 / 全体, 地質, 天文, 生物

燻蒸作業が明けた6/19日から《 新着資料展【自然分野】 》が寄贈品コーナーで始まりました。(7/18まで)



博物館では、毎年新たな資料が収集・収蔵されています。令和2年度に新たに収蔵された新着資料のうち、自然系分野の資料の一部をご紹介します。



地質分野では、鉱物や岩石、化石資料を展示しています。昨年4月に寄贈いただいた鉱物資料(資料の寄贈がありました - 博物館日記 (hirahaku.jp))も、今回、初公開です。



天文分野では、昭和20年代からの流星の観測記録のデータやスケッチを寄贈いただきました。「人類初の人工衛星スプートニク1号」の観測写真は貴重です。



生物分野では、新たに制作した骨格標本や、寄贈いただいた「虫こぶ」研究資料、「カドハリニッポンマイマイ」の殻標本を展示しています。

資料をご寄贈いただきました皆様には、厚く御礼申し上げます。大切に保管し、展示や教育活動に活用させていただきます。